

第89期

# 報告書

2022年4月1日～2023年3月31日



中山高原 新緑と菜の花と桜

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに当社第89期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)のご報告にあたり一言ご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国経済は、昨年末以降、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が大きく緩和され、個人消費や企業の設備投資を中心に経済活動の持ち直しの動きがみられました。一方、ロシアによるウクライナ侵略に伴う、原材料価格や資源価格の高騰で食糧や生活必需品など幅広い製品が値上げとなりました。

当社グループのエネルギー事業におきましても、ロシア・ウクライナ情勢により各種エネルギーの仕入価格高騰が継続するなど、当社を取り巻く事業環境は非常に厳しい状況が続きました。

このような事業環境のなか、当社グループは「(2022年~2024年度)中期経営計画」に基づき2050年のカーボンニュートラルを見据えつつ、2030年に向けて着実に実践可能な対応、脱炭素の前段と言える低炭素への取り組みを進めるとともに、持続可能な成長を実現し続けるため、地域密着型生活関連総合商社として地域との密接なつながりを活かし、安心・安全なエネルギーの安定供給と、より質の高いサービスの提供により増客増販に努めてまいりました。

当期の期末配当金につきましては、利益配分の基本方針と業績推移を総合的に判断し、1株22円とさせていただきます。今後も株主の皆様のご支援、ご期待に応えるべく努力してまいります。

今後の国内の経済環境はコロナ禍からの正常化が一層進むものと思われませんが、エネルギー価格につきましては、ロシア・ウクライナ情勢の長期化により依然として予測が難しい状況が続くものと思われま

す。このような事業環境のなか、当社グループは中期経営計画の2年目にあたり、ITやデジタル技術を活用し業務の効率化等を加速させ企業体質の強化に取り組むとともに、消費者の皆様には選ばれる事業者として、LPガス、石油類、小売電気などのエネルギーの安定供給に引き続き努めるとともに、新たに開始した取り組みの定着・拡大を図り、食・住の分野を含めた地域密着型生活関連総合商社として安定収益の確保と経営基盤の拡大に総力をあげて取り組んでまいります。

株主様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

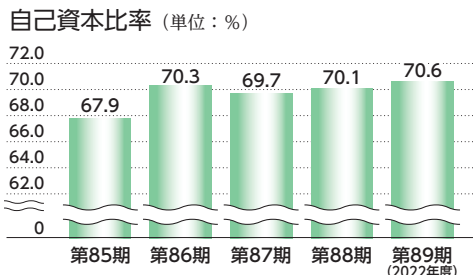
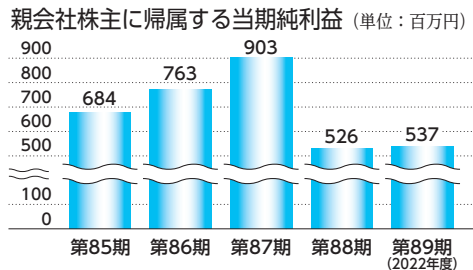
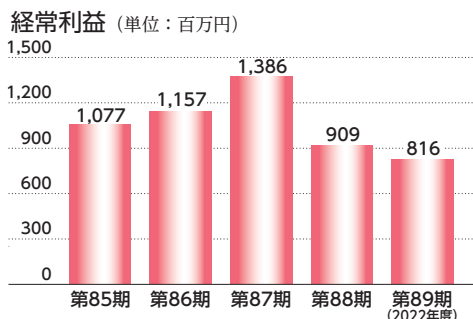
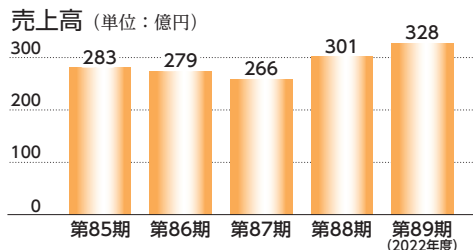


代表取締役社長  
塩原 規 男

2023年6月

# 営業の概況(連結)

## ■財務ハイライト



セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

エネルギー関連事業におきましては、LPガス及び石油類の仕入価格の上昇に伴う販売価格の上昇に加え、機器・リフォーム事業の売上伸長等により、売上高は29,069百万円(前年同期比8.0%増)となりました。一方、セグメント利益は、暖冬の影響等によるLPガス及び石油類の販売数量減少と電気事業の電力調達価格上昇の影響等により392百万円(前年同期比36.0%減)となりました。なお、LPガス販売事業者のうち現在全国で約1%に付与されている「ゴールド保安認定事業者」として、LPガス保安確保機器の設置を進めてきた結果、当年度末における認定対象先は96%を超えました。

製水事業におきましては、夏場の暑さによる売上増の影響により、売上高は327百万円(前年同期比9.0%増)となりました。セグメント損失は、新工場の償却費負担は減少したものの原材料費及び光熱費の上昇等により55百万円(前年同期は52百万円のセグメント損失)となりました。

青果事業におきましては、株式会社一実屋でのりんご売上の増加や株式会社えのきポーヤでのえのき茸の販売単価上昇等により、売上高は2,473百万円(前年同期比5.3%増)となりました。セグメント損失は主に株式会社一実屋での仕入価格上昇等により12百万円(前年同期は10百万円のセグメント利益)となりました。

不動産事業におきましては、大型の土地分譲の販売が順調に進んだことから、売上高は571百万円(前年同期比96.6%増)、セグメント利益は98百万円(前年同期比659.1%増)となりました。

その他事業(運送事業・建設事業等)におきましては、主に建設事業において完工物件が増加したことから、売上高は401百万円(前年同期比36.1%増)、セグメント利益は9百万円(前年同期は15百万円のセグメント損失)となりました。

これらの結果、当年度の連結業績につきましては、LPガス及び石油類の仕入価格の上昇に伴う販売価格の上昇に加え、機器・リフォーム事業の売上伸長等により、売上高は前期比8.9%増の32,844百万円となりました。

利益面におきましては、記録的な暖冬の影響等によるLPガス及び石油類の販売数量減少と電気事業の電力調達価格上昇の影響、及び高圧電力をはじめとしたグループ全体の光熱費や配送費の上昇等により、経常利益は前期比10.3%減の816百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比2.0%増の537百万円となりました。

# 財務指標

## 連結貸借対照表(要旨)

当 期 末 (2023年3月31日現在)  
前 期 末 (2022年3月31日現在)

	(単位：百万円)		(単位：百万円)	
	当期末	前期末	当期末	前期末
<b>資産の部</b>				
<b>流動資産</b>	<b>12,914</b>	<b>12,804</b>	<b>6,149</b>	<b>6,177</b>
現金及び預金	5,700	5,884	支払手形及び買掛金	2,341
受取手形、売掛金及び契約資産	4,301	4,613	短期借入金	2,670
商品及び製品	1,713	1,615	1年内返済予定の長期借入金	78
仕掛品	28	27	未払法人税等	107
原材料及び貯蔵品	663	285	賞与引当金	270
その他の流動資産	509	378	その他の流動負債	681
貸倒引当金	△ 2	△ 1	<b>固定負債</b>	<b>1,695</b>
<b>固定資産</b>	<b>13,765</b>	<b>13,257</b>	長期借入金	411
<b>有形固定資産</b>	<b>8,488</b>	<b>8,447</b>	退職給付に係る負債	667
建物及び構築物	2,553	2,707	役員退職慰労引当金	184
機械装置及び運搬具	706	810	資産除去債務	162
工具、器具及び備品	449	465	繰延税金負債	106
土地	4,470	4,436	その他の固定負債	163
建設仮勘定	307	27	<b>負債合計</b>	<b>7,845</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>201</b>	<b>192</b>		
のれん	80	53	<b>純資産の部</b>	
その他の無形固定資産	121	138	<b>株主資本</b>	<b>17,899</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>5,075</b>	<b>4,617</b>	資本金	1,512
投資有価証券	4,644	4,226	資本剰余金	1,248
繰延税金資産	113	110	利益剰余金	15,151
差入保証金	147	148	自己株式	△ 12
その他の投資その他の資産	204	160	<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>935</b>
貸倒引当金	△ 35	△ 27	その他有価証券評価差額金	939
			退職給付に係る調整累計額	△ 4
<b>資産合計</b>	<b>26,680</b>	<b>26,062</b>	<b>純資産合計</b>	<b>18,834</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>26,680</b>

# 財務指標

## 連結損益計算書(要旨)

当 期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)  
前 期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位:百万円)

	当 期	前 期
売上高	32,844	30,164
売上原価	26,126	23,405
売上総利益	6,717	6,759
販売費及び一般管理費	6,206	6,123
営業利益	511	636
営業外収益	322	295
営業外費用	17	21
経常利益	816	909
特別利益	—	—
特別損失	0	73
税金等調整前当期純利益	815	836
法人税等	277	309
当期純利益	537	527
非支配株主に帰属する当期純利益	—	0
親会社株主に帰属する当期純利益	537	526

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

当 期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)  
前 期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位:百万円)

	当 期	前 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,107	△ 53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 854	△ 720
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 437	△ 371
現金及び現金同等物の期末残高	3,534	3,719

## ◆いま話題のV2Hの設置



V2Hとは、「Vehicle to Home=車から家へ」を意味し、電気自動車に蓄えた電気を家庭で使えるシステムとなります。

電気料金の高騰による節電対策やカーボンニュートラルに向けた取り組みに寄与し、加えて災害等の停電時にも利用できるため、現在、注目度が非常に高いシステムとなります。

2022年度は当社へも多くの依頼をいただき、当社施工センターにおいて設置いたしました。

## ◆灯油ホームタンク洗浄事業の紹介

長年使用している灯油ホームタンクの内部には、水や錆、ヘドロ等の不純物が堆積していきます。そのまま放置しますと、タンクの消耗、パイプの詰まりのほか、暖房機やボイラーに不純物が入り機器の故障等の不具合が発生する恐れがあるため、お客様へは点検と洗浄をお勧めしております。

当社では、それらの不純物を吸い取り、ろ過をしてきれいな状態にすることができるホームタンク洗浄車を長野県内の北信・東信・中信・南信地区に合計4台配備しております。

この洗浄車により、4月から11月にかけて洗浄作業を実施し、灯油需要期に備えていただくことでお客様から大変好評をいただいております。



## 株式の状況 (2023年3月31日現在)

### ■株式の状況

① 発行可能株式総数	40,000,000株
② 発行済株式の総数	12,300,000株
③ 1単元の株式の数	100株
④ 株主数	949名

### ■上位株主

株主名	持株数(百株)	出資比率(%)
株式会社ミツウロコグループホールディングス	16,781	13.7
リンナイ株式会社	7,120	5.8
株式会社八十二銀行	5,750	4.7
ENEOSホールディングス株式会社	5,000	4.1
株式会社長野銀行	4,580	3.7
曽根原 充夫	4,271	3.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (管理信託口79212)	3,520	2.9
須澤 孝雄	3,460	2.8
長野県信用農業協同組合連合会	2,250	1.8
田中 郁子	2,131	1.7

(注) 出資比率は、自己株式195百株を控除して計算しております。

### ■分布状況

所有者別の株式分布状況

所有者	持株数(百株)	出資比率(%)
個人・その他	65,762	53.5
金融機関	20,702	16.8
その他の国内法人	36,098	29.3
自己株式	195	0.2
その他	243	0.2

### ■配当性向(連結)

第85期	第86期	第87期	第88期	第89期 (2022年度)
34.1%	32.1%	29.9%	51.3%	50.2%

## 会社の概要 (2023年3月31日現在)

- 社名 / サンリン株式会社
- 設立 / 昭和9年12月19日
- 資本金 / 15億1,280万円
- 従業員数 / 552名(グループ人員)
- 事業の内容 / LPガス、石油製品、一般高圧ガス、電力販売、煉炭・豆炭の製造販売、住宅設備機器の販売、リフォーム事業、太陽光発電等の環境事業、損害保険事業

### ■役員状況 (2023年6月20日現在)

代表取締役社長	塩原 規男
専務取締役	百瀬 久志
常務取締役	小原 正彦
常務取締役	高野 朗
社外取締役	田島 晃平
取締役	氣賀澤 隆
取締役	熊井 一浩
取締役	山田 高照
社外取締役	高田 真由美
常勤監査役	矢口 秀明
常勤監査役	小澤 信秀
社外監査役	井口 秀昭
社外監査役	宮田 旭

### ■子会社等 (2023年6月20日現在)

- 三鱗運送株式会社(一般貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業)
- ウロコ興業株式会社(管工事業)
- サンエネック株式会社(LPガス容器等賃貸業、不動産業)
- サンリンI&F株式会社(水製造卸、冷蔵倉庫業)
- 株式会社一実屋(青果卸売業)
- 株式会社えのきボーヤ(えのき茸の生産・販売)
- 有限会社松野燃料(LPガス・燃料類販売)※非連結子会社
- 新潟サンリン株式会社(燃料等卸小売業)※持分法適用関連会社

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日(ただし、中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所スタンダード市場 電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.sanrinko.co.jp/">http://www.sanrinko.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### 【お 知 ら せ】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 営業拠点



UD FONT  
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

この報告書は、環境に優しい植物油インキを  
使用して印刷しています。